

## 安全にお使いいただくために（はじめにお読みください）

ここに示した注意事項は、あなたや他人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

■表示の説明について		
<span></span>	表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。	<span></span> お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。(表示の一例です。)
<span></span>	この表示は、「 <b>死亡または重傷などを負う可能性が想定される</b> 」内容です。	<span></span> この表示は、してはいけない「 <b>禁止</b> 」内容です。
<span></span>	この表示は、「 <b>傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される</b> 」内容です。	<span></span> この表示は、必ず実行していただく「 <b>強制</b> 」内容です。

### ■誤飲による事故防止について

小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

<span></span>	分解したり改造しないでください。故障の原因になります。
<b>分解禁止</b>	

<span></span>	時計は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。
<b>注意</b>	

### 時計の廃棄

- お住まい地区自治体の指定にしたがってください。

### 電池の取り扱い

## 電池のご注意（電池の正しい使い方）

### 電池ご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう。

- プラス（+）、マイナス（-）を間違えない。**
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。**
- 種類の異なる電池を混ぜない。**
- 電池を新しくするときは、全部まとめて取り替える。**
- 時計が動いていても定期的に交換する。**
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。**
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。**
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。**
- 幼児の手が届かないところに置く。**

### 電池の種類について

- 本製品は 電池の特性に合わせて設計されています。指定以外の電池では、製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。
- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。Ⓧ **アルカリとマンガン乾電池の混在使用は液もれの原因となりますのでおやめください。**
- 一般に充電式乾電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- 一部の高性能電池では、初期電圧が高く時計には不向きなものがあります。(例・Panasonic オキシライド乾電池)

### 電池の廃棄

- お住まい地区自治体の指定にしたがってください。

<span></span>	火に入れると破裂の原因となり危険です。
<b>注意</b>	

### ■使用場所について

- 下記のような場所では使わないでください。機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

- 温度が+50℃以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が−10℃以下になる所。プラスチックの劣化や電池の性能が低下することがあります。
- 浴室など湿気が多いところ。
- ほこりが多く発生するところ。
- テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。
- プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

### お手入れについて

- 汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがあります。定期的な汚れを落としてください。

### 電池の交換

<span></span>	電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために、つぎのことをお守りください。
<span></span>	●電池に傷をつけたり、分解しない。
<span></span>	●電池をショートさせない。
<span></span>	●電池を充電しない。
<span></span>	●時計を使用しないときは電池を取り外す。
<span></span>	●時計が止まったらすぐに電池を取り外す。

電池に傷をつけたり、分解しない。

- 電池をショートさせない。

- 電池を充電しない。
- 時計を使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。

### 液もれが起きてしまったとき

電池からもれた液が目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。

もれた液に直接触れないでください。特にアルカリ乾電池には注意してください。

ゴム手袋をして電池をはずし、もれた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときはお買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

### 電池の寿命について

- 付属の電池は、工場出荷するときに入れてありますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 使用環境の温度などにより、製品仕様より電池寿命が短くなることがあります。
- 買い置きの電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなることがあります。

## 電波時計について

### 電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

### 標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2ヵ所あります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jyy.nict.go.jp)

### 電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所。
- 金属製の雨戸やブラインドの近くビルの地下など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く、スチール机等の金属製家具の上や近く

### 標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

### 電波受信機能のON/OFF

### 電波受信機能のON/OFF

ノイズなどにより誤受信しやすいところや、意図的に時間をずらしてお使いになるときに、電波を受信しないようにすることができます。この場合、時間精度はクォーツ精度となります。

- 電波受信機能をOFFにするには（停止するには）**
強制的受信ボタンを押し、その後、受信表示ランプの点灯に合わせ、強制的受信ボタンを3回押します。(点灯したらすぐに押してください)ボタンを押すタイミングによっては、OFFに切り替わらないことがあります。このようなときには、操作を繰り返してください。

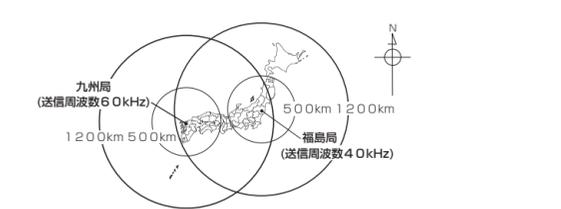
強制的受信ボタン → 押す → 押す → 押す → 押す
受信表示ランプ → 点灯J → 点灯J → 点灯J → 点灯しない

※電波受信機能がOFFのときに強制的受信ボタンを押すと、受信表示ランプは消灯したままで、針が早送りで動いたり、止まったりしてから時刻を表示します。

### 電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼／夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。



### 電波を受信しにくい環境



### 海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外での使用するときは、電波受信機能をOFFにして、手動で時刻を合わせてご使用ください。

### 電波受信機能のON/OFF

ノイズなどにより誤受信しやすいところや、意図的に時間をずらしてお使いになるときに、電波を受信しないようにすることができます。この場合、時間精度はクォーツ精度となります。

- 電波受信機能をONにするには（開始するには）**
先に時刻合わせボタンを押しながら、強制的受信ボタンを押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。その後、必ず強制的受信ボタンを押して受信を開始させてください。
時刻合わせボタン → 押しつづける……………離す
強制的受信ボタン → 押しすJ → 押しす
受信表示ランプ → 点減 → 点灯 (受信を開始)

### ご注意

※この説明文の中で「押す」は、「押して、すぐ離す」ことです。

※出荷時の設定は、電波受信機能はONです。

※表示用電池を取り外しても設定は変わりません。

## Small World

# 電波時計（メロディ報時付掛時計）取扱説明書

取扱説明書番号 M314-SXXZ

## ～ 製品の特長 ～

- 標準電波を受信して正しい時刻に修正
- 毎正時にメロディを奏でランプが点滅し、文字や飾りが動き出す
- 暗くなると自動的にメロディが鳴らなくなります

## ご購入前にご確認ください

お買い上げありがとうございます。

○ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

○この取扱説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

## お問い合わせ先

### 販売元 リズム時計工業株式会社

本社 ☎330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

### お客様相談室 フリーダイヤル

## アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

- 修理部品の保有について**
この時計の修理用性能部品（電子回路、歯車等）は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース・文字板等）の修理には、類似の代替品を使用させていただくこともあります。
- 修理可能期間について**
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。
- 転居または贈答品の場合**
転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。(保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。)

## お問い合わせ先

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたらお客様相談室にお問い合わせください。お問い合わせの際は、製品番号(型番)「4MN480」をお伝えください。

### ■お客様相談室 フリーダイヤル ☎0120-557-005

受付時間 9:00～17:00
(土日、祝日および当社休日を除く)

## おもな製品仕様

時間精度	標準電波の受信に成功した場合の表示誤差(受信直後) <p>表示精度 秒針 ±1秒 <span style="margin-left: 100px;">時計・分針 目盛りに対して±3度</span></p> <p>標準電波を受信しない場合 <span style="margin-left: 100px;">平均月差 ±20秒 (常温中のクォーツ精度)</span></p>
自動受信回数	受信に成功している場合:1日1～3回 <p>受信に失敗している場合:1日12回(最多)</p>
報時精度	表示時刻に対して±1秒
報時音	電子音メロディ
使用温度範囲	−10～+50℃
使用電池	表示用:単1形アルカリ乾電池(JIS規格LR20) 2個 <p>内 蔵:コイン形リチウム電池(CR2032) 1個</p>
電池寿命	表示用電池:約1年間 (報時 音量最大、1日17回) <p>内 蔵 電 池:工場出荷時より約5年以上(交換不要)</p>
その他	標準電波機能 <p>時刻自動修正、電波受信ON/OFF機能、電波サーチ、受信表示ランプによる受信結果の表示、時刻のバックアップ</p> <p>報時機能 <span style="margin-left: 20px;">メロディの種類選択、報時スイッチ(ON/OFF)</span></p> <p>音量調節、メロディモニター機能</p> <p>文字の回転、メロディに合わせてランプ点滅</p> <p>電池交換時期お知らせ機能</p> <p>明暗センサー</p> <p>暗所での秒針、報時、受信表示ランプの停止</p>

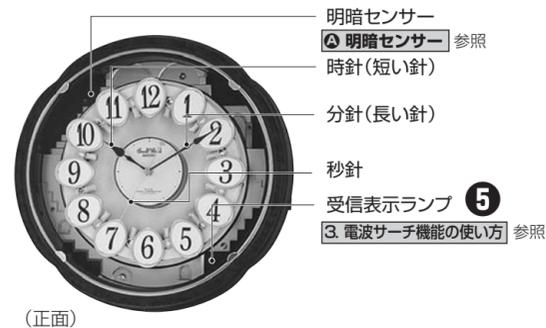
※付属の電池は、工場出荷時に入れてありますので、電池寿命が製品仕様より短い場合があります。
※電池寿命は、標準電波の受信に成功し、1日7時間報時しないときのもです。
※製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

**付 属 品**

単1形アルカリ乾電池	2個	取扱説明書	本書
木ねじ	1個	保証書	1枚

## 1. ご使用方法

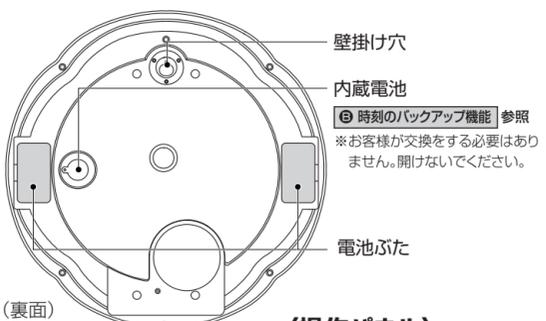
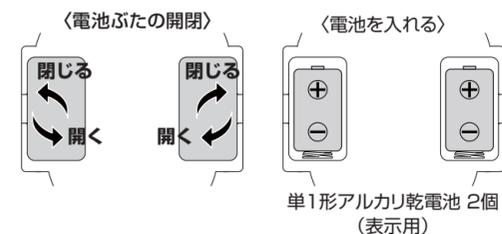
※図は操作説明用ですので、実際の商品と異なる場合があります。



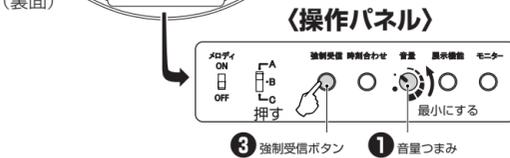
(正面)

### 【電池の入れ方】②

電池ふたを外して電池を入れ、電池ふたを取り付けます。



(裏面)



### ④ 明暗センサー (暗くなると眠る秒針)

明暗センサーが暗いと判別した場合、秒針は12時位置に到達したところで停止し、受信表示ランプが消灯し、報時を停止します。センサーは、時計の周囲の明るさに反応しますので、昼間や夜間の照明時などでも明るさが不足して、反応することがあります。

この時計は電波サーチ機能により、時計を設置したい場所の電波状態を調べたり、電波状態のよりよい場所を探すことができます。

☞ **3. 電波サーチ機能の使い方** 参照。

手動で時刻を合わせるときは、**5. 手動での時刻の合わせ方** を参照してください。

- ① 音量を小さくする
- ② 電池を入れる 【電池の入れ方】参照

電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて指定の電池を入れます。電池は正しく入れてください。逆に入れると発熱・破裂・液もれなどの原因になります。

- ③ 強制受信ボタンを押す

受信表示ランプが3秒間点灯し、針が動き出し約3分以内に時刻を表示します。受信中はボタン操作をしないでください。表示する時刻は内蔵電池により駆動している時刻です。詳しくは **6. 時刻のバックアップ機能** をお読みください。

- ④ 時計を掛ける

**時計の掛け方** に従い、落下しないように時計を掛けます。

- ⑤ 約15分後に受信結果を受信表示ランプで確認

受信表示ランプの見方は **3. 電波サーチ機能の使い方** を参照してください。

受信成功：2秒に1回点滅→そのままお使いください。

受信失敗：消灯→ **4. 電波を受信できない場合** へ

※受信に失敗している場合、時刻は正しくありません。

※受信に成功してもノイズにより誤った時刻を表示することがあります。このようなときは、強制受信ボタンを押して再度受信させてください。

## ■ 報時の設定

**2. 報時機能の使い方** に従い設定してください。

### 時計・分針・秒針の動き

通常の時刻表示  
時計・分針：10秒に1回動きます。  
秒針：滑らかなステップで1秒単位に動きます。

### 自動時刻修正

時計・分針：順方向または逆方向に早送り。一時停止することもあります。  
秒針：早送りで順方向に動きます。12時位置に停止することがあります。

### ③ 時刻のバックアップ機能

この時計は、工場出荷時に電波を受信させ、内蔵電池により時を刻みつけています。また、内蔵電池により受信を試み、受信に成功した場合、時刻を修正しています。

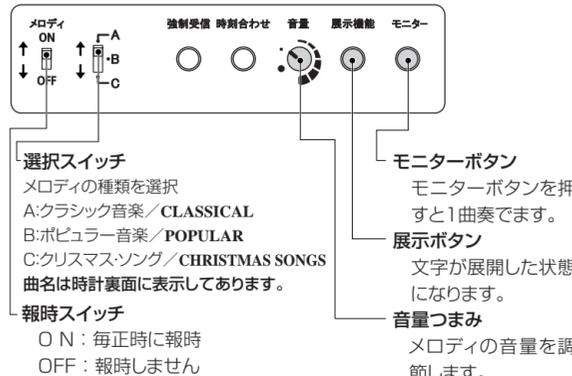
表示用電池を入れて強制受信ボタンを押すと、内部の時刻に基づき、針がすばやく時刻を表示します。また、表示用電池が消耗したときや取り外したときは、内蔵電池に切り替わり時刻を刻み続けます。

※内蔵電池のみでは、時刻表示および報時をしません。

※電波受信機能が「OFF」のときは、受信を行いません。

※表示用電池で時刻表示がされている場合は、内蔵電池を使いません。

## 2. 報時機能の使い方



※装飾用ランプ

【文字が回転する】

### ⑤ 電池交換時期のお知らせ機能

電池の残量が少なくなると秒針が明るいところでも12時位置で停止します。停止してから1ヵ月程度、時分針は時刻を表示しますが、お早めに電池を交換してください。  
※お知らせ状態になってから、時計が停止するまでの期間は、ご使用状態により変動します。  
※電池を交換したときは、必ず強制受信ボタンを押してください。

## ◆ 電池の交換

**注意** 電池からの液もれや発熱、破裂を防止するためにつぎのことをお守りください。

- 時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 時計が動いていても1年に1回定期的に交換してください。
- 古い電池と新しい電池、マンガン乾電池とアルカリ乾電池を混在して使用しない。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。



報時は毎正時に1曲奏でます。このとき文字と飾りが回転し、装飾用ランプが点滅します。

### メロディの種類を選択

選択スイッチで、メロディをA,B,Cのグループから1つ選択できます。

### 報時スイッチの設定

報時スイッチにより、ON/OFFを設定します。

ON :毎正時に報時します。

OFF :報時しません。

※報時スイッチがONのときでも、明暗センサーにより暗くなると報時しくなくなります。

### 音量調節のしかた

音量つまみを回して調節することができます。

モニターボタンを押し、メロディを奏でている間に音量つまみを回して調節します。

### メロディの試聴

モニターボタンを押すと選択されたメロディを奏でます。鳴っているときにモニターボタンを押すと、つぎのメロディに切り替わります。

### メロディについて

- メロディの曲目は時計裏面に表示してあります。
- 曲順は変更することはできません。また、時刻と曲目は固定されていません。

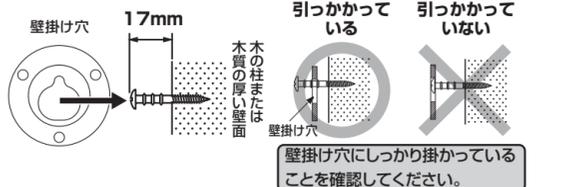
## 時計の掛け方

時計の掛け方が不適切な場合、時計が落下する危険があります。

- ! 強制 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れる恐れがあります。
- ! 注意 掛けるときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け穴に掛け具(木ねじ)がしっかり掛かっていることを確認してください。
- ! 注意 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。
- ! 注意 ドアを開閉するときの振動が伝わらないところに設置してください。

### 木の柱または木質の厚い壁面の場合

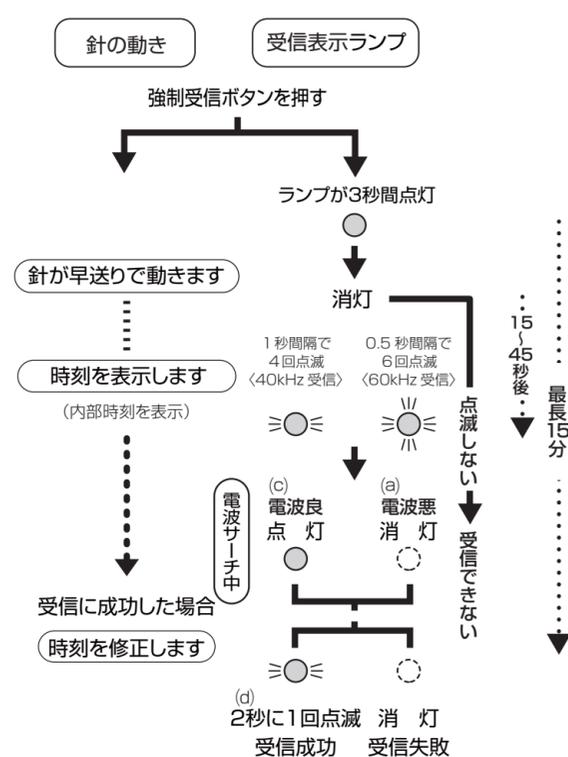
- 付属の木ねじを使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図の通り、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



### その他の壁面の場合

- 上記以外の場所(石膏ボード、コンクリートなどの壁面)に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、両面テープ式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

## 3. 電波サーチ機能の使い方



## 4. 電波を受信できない場合

電波の受信に失敗した場合、3通りの対処方法があります。

- ① 翌朝まで待つ

一般的に、夜間は電波の受信がしやすくなりますので、受信できるか翌朝まで様子を見ます。表示されている時刻が大きく違っている場合は、**5. 手動での時刻の合わせ方** に従い時刻合わせをして翌朝まで待ちます。翌朝まで待っても受信できない場合は、設置場所を変える必要があります。

- ② 時計を電波の受信しやすいところに移動して設置

電波サーチ機能を使い受信しやすいところに設置してください。

- ③ 時刻合わせをして使用する

ベランダなど屋外で、電波の受信に成功させるか、手動で時刻合わせをしてからご使用ください。この場合、電波を受信できないため、時間精度はクォーツ精度になります。

※電波を受信しにくいところで使用すると、ノイズにより誤った時刻を表示するおそれがありますので、電波を受信しやすいところでお使いになるか、電波受信機能をOFFにしてお使いになることをお勧めいたします。

☞ **6. 電波受信機能のON/OFF** 参照。

受信表示ランプの点灯または消灯により、電波の状態をお知らせします。

① 窓際やベランダなど電波の受信しやすいところに時計を移動させます。

② 強制受信ボタンを押します。  
受信表示ランプが約3秒間点灯後、針が動いたり、止まったりした後に時刻を刻み始めます。15~45秒後に受信表示ランプが点滅し、その後点灯するまで待ちます。およそ1分以上待っても点灯しない場合は、時計の向きや場所を変えてから強制受信ボタンを押してください。

③ 受信表示ランプが点灯したら、設置したい場所に時計を移動します。

④ 受信表示ランプの表示で、電波の状態を確認します。(電波サーチ中)

(a)消灯→電波を受信できません。  
時計の向きや掛ける高さなどを変えてみてください。それでも点灯しない場合は、設置する場所を変えて、②からやり直してください。

(b)不規則な点滅や短い間隔での点滅→電波が弱いです。  
受信に失敗する可能性があります。

(c)点灯→良好な電波状態です。

(d)2秒に1回点滅→受信に成功。

※電波サーチ中に、時計の向きや位置を変えると受信表示ランプの状態が変化します。

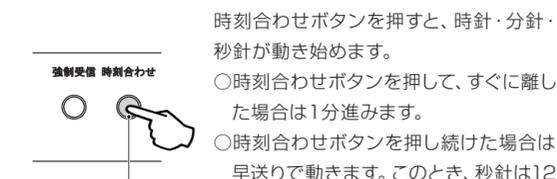
※強制受信ボタンを押した後、電波をサーチして、受信が完了するまでには、最長15分かかります。

## 5. 手動での時刻の合わせ方

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。

※時刻合わせボタンを離しているのに、針が早送りで動いている場合は、通常の針の動きになってから操作してください。

※電波受信機能がONのときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。 **6. 電波受信機能のON/OFF** 参照。



### 時刻合わせボタン

### 秒針の動きについて

秒は、時刻合わせボタンを離したとき、「0秒」に設定されています。秒針が早送りで動いているときに、時刻合わせボタンを離すと、そのまま早送りして現在時刻の秒位置まで動き、その後滑らかなステップで1秒単位に動きます。